

NOBEL 2019 ANNUAL REPORT

認定NPO法人ノーベル 2019年度活動報告書



NOBEL

団体ロゴが新しくなりました

もう、おかんひとりに抱え込ませない。
みんなで、子育てするから両立できる社会。その思いを込めた新しいロゴマークです。

おかんも、おかんの家族も。保育を担う人も、勤め先の企業も、地域の人も。行政も、支援する人も、そしてノーベルも。四方八方のみんなが、両立時代に入ったこれからの子育てに寄り添っていく。必要なときには連携しあって、その輪を広げていく。そんな未来を掲げて、ノーベルの新しい挑戦が始まります。皆さまと一緒に、たすけあう関係に溢れた頼りがいのある社会を創っていききたい。そんな思いを込めました。



NOBEL

代表メッセージ(代表理事 高 亜希)

2019年度は「両立を、みんなで作る。」という2030宣言を発表、私たちが進む道として2030年へのロードマップを発表しました。今の社会は母親だけの努力や忍耐で成り立つ両立ではないかと、改めて社会に問い、事業を通して解決していくことを宣言。その第一歩として、施設型一時保育「ノーベルさんのおうち」を開設、これからは病気の時の「いざ」というときから、日常の「いざ」というときもサポートしていきます。病児保育も無事故を守り、これからの新しい第一歩を踏み出しました。寄付者の皆さま、利用者の皆さま、ノーベルをサポートしてくださっている皆さま、そして働く全てのスタッフのおかげです。本当にありがとうございます。これらも一緒に多くの「両立」を生み出していきたいです！

ノーベルの団体理念

実現する未来

VISION

子どもを産んでも当たり前に働ける社会

掲げる使命

MISSION

たすけあえる仕掛けをつくる

大切にする価値観

VALUE

私たちは解決するまで前を向き寄り添いつづける

2019年度の振り返り



認定NPO法人ノーベルは、2010年の病児保育サービスインから10年を迎えました。この節目の年は、組織基盤を整え、価格改定、賃金改定、10周年記念、そして年度末には、新型コロナウイルス感染拡大下における保育サービスの継続決定など、様々なことに取り組み、決断を重ねる日々でした。また、ノーベルの新規事業として、施設型一時保育を開業、病児保育以外にどのようなニーズがあるのか、どのようなサポートができるのかを考えながら運営をおこなっています。

10年前の「がむしゅら」を経て、「しなやかに芯のある強さ」に変化しつつ、これからも様々な課題解決や改善を重ね、「子どもを産んでも当たり前に働ける社会」を目指します。

NOBEL

数字でみるノーベルの病児保育



2019年度は、冬の感染症流行時期と、新型コロナウイルス感染拡大時期が重なり、1月以降は新規入会者数および病児保育利用が減少しました。その要因として、多くの企業がリモートワークを導入、自宅保育要請、またノーベルの感染予防観点における緊急措置として受診代行の一時休止などサービスを一部制限したことが挙げられます。新型コロナウイルス感染拡大により異例の事態となりましたが、今後、新たな生活様式や、働き方などが導入されていく中で、ノーベルがどのようなサービスを提供できるのか、なにが求められるのかを考えていきたいと思っています。そして、働く親御さんをサポートするために、安心・安全・無事故の保育を提供できるよう、事務局の体制整備と保育スタッフの採用・育成強化に取り組んでまいります。

累計会員数

2,809名

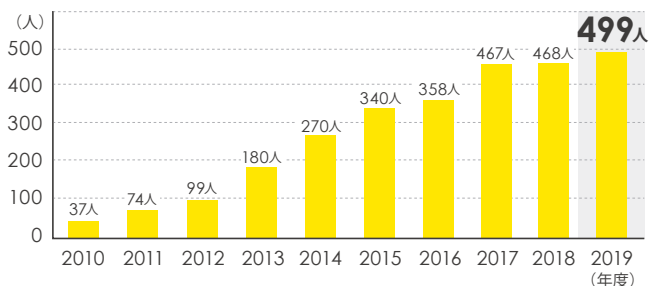
病児保育件数

2,727件

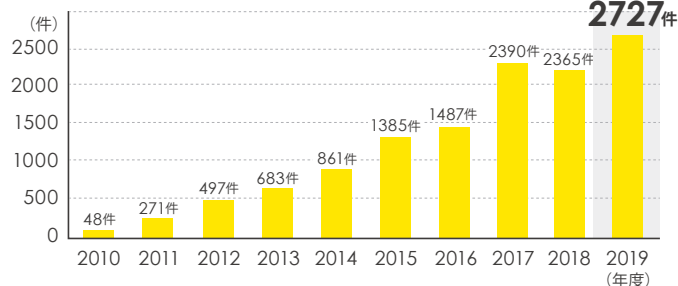
累計病児保育件数

12,707件

新規入会者数の推移



病児保育お預り件数の推移



病児保育事業 2019年度の主なトピックス

病児保育料金の価格改定や、保育スタッフの賃金改定、受け入れ年齢拡大など幅広い課題解決と改善に取り組みました。10年連続で会員満足度95%を維持し、安心・安全・無事故の保育を提供することができました。

TOPICS

01

病児保育料金の 価格改定を実施

ここ数年、最低賃金アップの議論がされており、政府は全国平均1,000円を目標に掲げています。実際に、10年前から185円上昇。おそらく、今後も上がり続け、都市部である大阪は中長期的に1,000円を超えることが見込まれます。また、2020年10月から消費税が8%から10%に上昇したこと、保育市場の需要と供給のバランスが合っていないため、人材確保のコストも年々上がっています。より多くの人に利用していただきたいと思い、2017年にはそれまでの利用料金を値下げして運営してきましたが、このままでは事業の継続が困難であることから、利用料金を改訂することを決断しました。



TOPICS

02

アルバイト保育スタッフの 賃金改定を実施

前項でも述べた通り、最低賃金アップの背景をうけ、よりよい人材確保と人材流出を防ぎ、また保育スタッフそれぞれのスキルアップを目指すための指標となる給与テーブルを導入、賃金改定を実施しました。

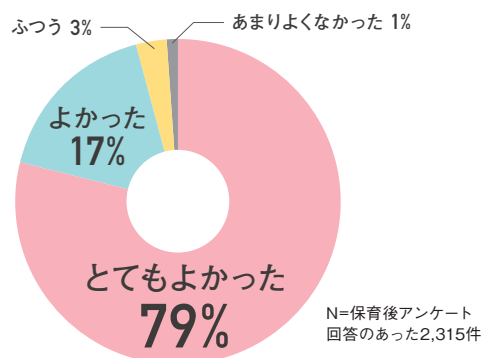


TOPICS

03

創業以来10年間、 会員満足度95%以上を維持

保育に関する5段階評価で、アンケート回答のあった2,315件の保育に対して、[5:とてもよかった][4:よかった]の割合が96.3%となり、創業以来10年連続で、会員満足度95%以上を維持しています。保育スタッフの入職時の充実した研修制度、入職後も専門研修やケース会議など、定期的に情報共有や改善につとめ、日々の保育の質の向上につなげています。



TOPICS

04

高槻市・摂津市 0-2歳児受け入れ拡大

3歳児以上入会可能エリアとしていた高槻市・摂津市において、2020年3月より0~2歳児のご入会が可能になりました。

TOPICS

05

新型コロナウイルス 感染拡大による影響

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時的に受診代行の休止、家族の既往歴などによる利用制限を設けましたが、緊急事態宣言発令後も、医療従事者の方、社会の機能を維持するために就業を継続することが必要な方、公共機関・販売・物流・通信等の仕事に就業されている方、ひとり親家庭などで仕事を休むことが経済的に困難な方を優先しながら、働く親御さんをサポートするために保育スタッフの感染予防を徹底、お子さんの命を守ることを念頭におきながら保育サービスの提供を継続しました。



▲長袖エプロン、使い捨てマスク、アルコール消毒、キューマスクなどを感染予防対策として保育スタッフに配布。

提携医・医療アドバイザーからのメッセージ

正しい知識を持っていただけるように、出来るだけ分かりやすい言葉を用いて説明するように心がけています。また、専門外分野で私自身にも正確な回答が難しい場合は、専門の先生にお聞きすることもあります。安全に保育していただけることが何より大切だと思いますので、保育時にどのような状態が起こる可能性があるのか、その状態にどう対応していくのが良いか、それが保育者に対応可能なものであるのかを考えてアドバイスやサポートをしています。(かめさきこども・アレルギークリニック 海老島優子先生)

ノーベル設立初期からサポートをしており、基礎疾患のあるお子さんについての医学的なアドバイスと、保育スタッフの感染症予防対策、麻疹・風疹抗体検査とワクチン接種をお手伝いしています。病児保育に訪問型が適しているかは今後も考えねばなりませんが、社会的ニーズがこれだけ大きい以上、医学的な面でサポートは大切であると思っています。(中島小児科診療院 院長 中島滋郎先生)

NOBEL

ファンドレイジング 2019年度の主なトピックス



みんなで
かける虹。

OSAKA
MARATHON 2019

チャリティランナー数 **40**名

6年連続で大阪マラソンの公式寄付先団体に採択され、2019年度は40名の方がそれぞれ7万円以上のご寄付を集め、参加してくださいました。また、ノーベルのチャリティランナーとして連続出場される方も多く、活動内容にご賛同いただけていることをとてもうれしく思います。また、「走っている最中にこうすれば目立つのでは?」「走りながら広報します!」とアイデアをいただいたり、皆さまからの熱い想いととも、大会を楽しむことができました。なお、大会前の準備期間中も、ランニングイベント・活動説明会を開催し、ご寄付の使途など、支援者の皆さまへお伝えする機会を設けました。

法人からの大口寄付

3法人



日本総研
The Japan Research Institute, Limited

▲株式会社日本総合研究所様が執筆した「SDGs入門」(日経文庫)の印税の一部をご寄付という形でご支援いただきました。



▲昨年に引き続き、株式会社Youth Theatre Japan様のチャリティハロウィンパーティーで活動紹介の機会をいただきました。また、チャリティシート(有料席)の売上の一部をご支援いただきました。



▲三井住友銀行ボランティア基金様の有志の役職員の皆さまから積立募金にてご支援をいただきました。スペシャルニーズ家庭に病児保育サポートを届けるために活用させていただきます。(写真は寄付先報告会の様子)

NOBEL

ドノ親子ニモ応援団プロジェクト 利用者の皆さまからの メッセージ



入会前は不安もありましたが、入会後は「いつでも預けられる」という安心から、公私共に落ち着くようになりました。実際の利用時は子どもも楽しくリラックスして過ごせたようです。寄付をしてくださる皆さまのおかげで、収入を減らす事なく働ける環境はとてありがたいです。シングルで預け先もなく病気や熱などの突発的な休みをどう乗り切ろうかと考えていましたが、ノーベルさんを知って正社員の仕事に就けています。いつか余裕が出来たとき、次世代の方々へ恩返しが出来よう精一杯頑張ります。(ご利用会員Hさま)

昨年の「ドノ親子ニモ応援団プロジェクト」への移行より1年、2019年度も多くのご家庭をサポートすることができました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で寄付者の皆さまも大変なご状況かと思いますが、その中でも多くの方がご支援を継続してくださいました。

寄付総額

24,501,369円

単発寄付者数

784名

継続寄付者数

168名



ぺんぎん団員

1,000円/月

98名

ぱんだ団員

3,500円/月

35名

しろくま団員

7,000円/月

22名

くじら団員

10,000円/月

13名

ドノ親子ニモ応援団プロジェクト
サポート家庭数

ひとり親家庭 **55**名を招待(累計**256**名)^{※1}

スペシャルニーズ家庭 **6**名を招待(累計**24**名)

(※1)1家庭につき、2年間のサポートをおこないます。

サポート法人

31法人

●株式会社Youth Theatre Japan ●株式会社日本総合研究所 ●三井住友銀行ボランティア基金
●大日本住友製薬株式会社 ●大阪商工信用金庫 ●一般財団法人H2Oサンタ ●医療法人佐々木医院
●医療法人ラ・コール会 ●NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク ●日本マッサージ師支援
協会すまいるサポートCLUB ●徳智栄法律事務所 ●株式会社蒼江 ●京阪藤和法律事務所
●川端経営労務事務所 ●有限責任あずさ監査法人 ●ヤフー株式会社 ●ソフトバンク株式会社
●株式会社バリューブックス ●株式会社ベネフィット・ワン ●有限会社日英ジャパン ●アトリエ マエダ
●株式会社ダイヤアクセス ●アルフレックスファーマ株式会社 ●キャリアアップ・ラボ株式会社
●マザーグループ株式会社 ●InterRace株式会社 ●オレンジレーシングスポーツ ●株式会社SSS大阪
●相生株式会社 ●有限会社ブレンダ建築設計室 ●株式会社タンバリン(敬称略/順不同)

障がいの影響で普通の風邪でも排痰が上手く出来なかったり、食事介助や体温調整、筋緊張のコントロールが難しい部分もあり、リスクを考えると入会を断られても仕方ないと思っていました。しかし、カミングアウトしても「サポートを継続します」のお言葉にありがたすぎて泣きました。近くに頼れる両親もなく、ヘルパーさんも急な対応は難しく、訪問看護も少しの時間しか利用が難しいです。ノーベルさんがあるという心強さで何とか働いています。(ご利用会員Yさま)

パート勤務なので仕事を休むとその分の給料が減り、生活が苦しくなります。子どもが2人なので順番に風邪をひくことも多々あり、結果的に長期間休むことがありました。子どもが風邪をひく度に、「また!?!」とイライラしたり不安な気持ちになることもありました。でも、ノーベルを利用しはじめてからは、安心して預けて仕事に行くことが出来て、子どもも「ノーベルさんと折り紙したよ!絵本読んでもらったよ!」と楽しく過ごせているようで本当に助かっています。困った時にすぐ助けてくれる存在は大きいです。(ご利用会員Yさま)

ノーベル設立10周年・ 一時保育事業のトピックス

設立10周年をむかえ、記念パーティー・クラウドファンディング・新規事業の立ち上げなど、新たな一歩を踏み出した1年となりました。また、ノーベルの2030宣言「両立を、みんなで作くりなおそう。」に対して、多くの方々からご賛同とご支援をいただきました。

TOPICS

01

ノーベルの2030宣言 「両立を、みんなで作くりなおそう。」

2019年11月、ノーベルの設立10周年を機に新たなメッセージをリリースしました。2030宣言「両立を、みんなで作くりなおそう。」です。この10年で子育てと仕事の両立は大きく変化を遂げています。そして、次の10年をどうするのか、それを1年以上かけて構築し、10周年パーティーにおいて発表させていただきました。10年前と比べると、育休をとることは当たり前、長時間労働が議論されたり、働く女性は増え、共働き家庭は全体の2/3になりました。しかし、子育てが母親たちの役目や責任になっている状況は一向に変わらず、今の子育てと仕事の両立は母親たちの忍耐と努力で成り立っているだけだということに気づき、この宣言をリリースしました。

- 一 納得して働くことができる
- 一 納得して預けることができる
- 一 心身ともに余白がある



産後、希望どおりに働けていないという現状に対して、この3つの軸で事業を展開していきます。

2030年に描くのは、子どもを産んでもフツーに両立できる社会。



TOPICS

02

設立10周年記念パーティー開催、 ノーベル初となるクラウドファンディングに挑戦

2019年11月、ノーベル設立10周年記念パーティーを開催。当日は寄付者さま・病児保育会員さま・パートナー会社さま・日頃よりお世話になっている皆さまなど総勢100名近く（スタッフを含めると合計130名近く）の方にご参加をいただきました。また、ノーベル初の取り組みとなる目標500万円のクラウドファンディング（READY FOR）に挑戦。病児保育のノーベルから「両立に必要なあらゆる取り組みを実践する」ノーベルへ変わることを宣言、転換に向けた第一歩となる新たな事業、一時保育施設の立ち上げにかかる費用のご支援を呼びかけました。パーティーにご参加いただいた皆さまや、過去10年でノーベルの活動を様々なシーンで支えていただいた関係者・パートナー団体・病児保育会員・寄付者の皆さま、そして今回のチャレンジを機にノーベルを知ってくださった多くの方々からご支援をいただきました。

クラウドファンディングご支援の結果

ご支援人数 **333**名

ご支援金額 **6,471,000**円



TOPICS

03

一時保育室「ノーベルさんのおうち」 谷町四丁目に開業

「働きたい! やりたい!」に寄り添う、いざという時の一時預かりサポート。大阪市中央区谷町四丁目駅そばに、2020年1月より一時保育室「ノーベルさんのおうち」をプレオープンしました。近所に頼れる祖父母はいない! 夫も頼れない! 保育園に入れない! いま働いている人も、いま働いていない人も。自分の理想の「働く」や、心地よい「子育てと仕事の両立」をかなえるために、日常のちょっとしたしんどい! 困った! 瞬間を柔軟にサポートする、一時保育室を目指します。既存の一時保育施設では難しい、「急な予約」や「お迎え」「20時まで営業」など、普段、保育園に通っている共働き・ひとり親世帯も活用できる利便性を備えました。サービス内容は利用者のニーズを踏まえ、今後も改善していく予定です。



クラウドファンディング

「両立を、つくりにおそう。」

-子どもを産んでもフツーに働ける社会へ
プロジェクトにご賛同いただいた皆さま

- 栗田貴也様 ● 水野智寛様 ● 上田篤史様 ● 武内真喜様 ● 鈴木健太郎様 ● 村上和也様 ● 植原英子様 ● 上原麻衣様
- 前田正浩様 ● 時松志乃様 ● 水谷衣里様 ● 熊西乃里子様 ● 鷹野舞様 ● 伊庭正康様 ● 満畑泰生様 ● 西尾伸介様
- 井城恵子様 ● 四十万谷貴子様 ● 小林京花様 ● 井上英之様 ● 南宏尚様 ● 北村政記様 ● 中上早希様 ● 茅根純子様
- 松浦雅彦様 ● 田中強志様 ● 青木真美様 ● 石原武政様 ● 高江玲子様 ● 田中真知子様 ● 東野朝子様 ● 伴正海様
- 脇田卓朗様 ● 尾崎佳世子様 ● 小林庸平様 ● 水町真知子様 ● 熨斗英里子様 ● 山崎牧子様 ● 山本番苗様 ● 梁培花様
- 山本信夫様 ● 一般社団法人あい福祉AI研究所様 ● ビーアールソフト株式会社様 (順不同)

※クラウドファンディングにて、3万円以上のご支援をいただき、お名前の掲載をご承諾いただいた皆さまを掲載しております。

2019年度会計報告

2019年度貸借対照表

科 目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	84,252,588		
売掛金	10,403,958		
立替金	182		
前払費用	759,101		
未収入金	817,482		
流動資産合計		96,233,311	
2.固定資産			
(1)有形固定資産			
一括償却資産	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	1,806,752		
無形固定資産計	1,806,752		
(3)投資その他の資産			
差入保証金	2,100,000		
保険積立金	982,740		
繰延消費税	83,969		
投資その他の資産計	3,166,709		
固定資産合計		4,973,461	
資産合計			101,206,772
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	6,925,078		
未払費用	783,472		
未払法人税等	70,000		
前受金	837,724		
預り金	1,232,933		
流動負債合計		9,849,207	
負債合計			9,849,207
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		85,010,506	
当期正味財産増減額		6,347,059	
正味財産合計			91,357,565
負債及び正味財産合計			101,206,772

2019年度活動計算書

科 目	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1.受取寄付金	24,501,369	24,501,369	
2.受取助成金等	1,000,000	1,000,000	
3.事業収益			
病児保育事業収益	100,491,385		
病児保育事業収益 (ひとり親支援)	1,768,380		
ソーシャル プロモーション事業収益	0		
他団体事業受託収益	3,600,000	105,859,765	
4.その他収益			
受取利息	1,672		
雑収益	101,353	103,025	
経常収益計			131,464,159
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費	72,026,844		
(2)その他経費	21,931,203	93,958,047	
2.管理費			
(1)人件費	14,366,465		
(2)その他経費	16,684,620	31,051,085	
経常費用計			125,009,132
当期経常増減額			6,455,027
III 経常外費用			
雑損失	37,720	37,720	
経常外費用計			37,720
税引前当期正味財産増減額			6,417,307
法人税、住民税及び事業税			70,248
当期正味財産増減額			6,347,059
前期繰越正味財産額			85,010,506
次期繰越正味財産額			91,357,565

2019年度は、消費税増税や、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けてもなお、過去最高売上を達成しました。売上だけではなく、正味財産も着実に増え、財務基盤は非常に安定してまいりました。しかし、真に素晴らしいことは5期までの不安定な時期もそれ以降の成長期も、変わらず質の高い病児保育に取り組んでこられたことです。順風でも、逆風でも、掲げた信念に向かって進み続ける。次の10年も期待しています。(顧問税理士/税理士法人ゆびすい京都支店 支店長 矢部恭章先生)

2010～2019年度の推移(売上/当期純利益/正味財産)

年 度	売 上	当期純利益	正味財産
2010年度	7,188,795	-395,807	-1,208,195
2011年度	12,921,360	1,444,241	236,046
2012年度	23,610,090	1,956,118	2,192,164
2013年度	36,688,467	-30,380	2,161,784
2014年度	55,787,928	4,967,272	7,129,056
2015年度	100,885,497	35,470,900	42,599,956
2016年度	88,839,261	5,921,474	48,521,430
2017年度	120,029,199	30,818,842	79,340,272
2018年度	118,265,906	5,670,234	85,010,506
2019年度	131,464,159	6,347,059	91,357,565

